



工場野菜生産事業への参入 および国内最大規模の完全人工光型植物工場の建設について

 三菱ガス化学株式会社

2017年12月27日

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：倉井 敏磨、以下「当社」）は、福島県白河市「QOL*1イノベーションセンター白河」内に、日産 2.6 トン*2の葉菜類生産設備を有する国内最大規模の完全人工光型植物工場を建設し、工場野菜生産事業へ参入することを決定いたしました。

植物工場は、従来の畑地栽培やハウス栽培とは異なり、施設内で植物の生長に必要な光、温湿度、二酸化炭素濃度、水分、栄養分等の環境条件を制御しながら、植物を栽培する施設です。植物工場は、①土地面積当たり生産量が従来比 100 倍以上、②天候や土壌等の自然環境の影響を受けない、③栄養分等の投入資源の利用効率が低い、④水の使用量が従来比約半分、⑤無機肥料の使用量が少なく、環境汚染物質等の排水が少ない、等の特長があります。植物工場には太陽光を使用するものもありますが、完全人工光型植物工場は、光源に LED のみを使用するため、天候に左右されることなく、常に最適な生育環境をつくり出すことが可能です。

植物工場では、生産プロセスにおける高度な環境制御が、生産性に多大な影響を与えますが、これは化学産業にも通ずる特徴です。当社は、植物工場として国内最大規模の設備を建設するとともに、化学品の製造プロセスで培った環境制御のノウハウを活用して効率的に運営することで、収益性を確保した、事業性のある植物工場を目指します。完全人工光型植物工場の事業化により、省資源で持続可能な農業を可能とし、植物工場産業の新たな事業展開につながることを期待されます。

また、当社は、食品の洗浄に使用される過酸化水素や過酢酸製剤、食品を酸素劣化から守る脱酸素剤および各種機能性樹脂フィルム等、食品の安全・安心に関わるさまざまな製品・技術を有しております。これらを工場野菜生産事業へ応用し、食品の品質を長期間、高く保持することで、競争力を向上させるとともに、フードロス削減等の貢献も期待されます。

なお、本事業は、大規模完全人工光型植物工場の運営および生産品の販売に実績のある株式会社ファームシップ（以下「ファームシップ社」）と協業体制を敷き、推進していく計画です。

当社は、本事業を通じ、今後進むべき事業領域の一つに定める“医・食”分野のさらなる事業展開を進めてまいります。

*1 Quality of Life (クオリティ オブ ライフ) の略

*2 1株80グラムのリーフレタス換算で日産32,000株

■建設する完全人工光型植物工場について

建設地：福島県白河市豊地筋内小屋1-8「QOLイノベーションセンター白河」内

延床面積：8,000㎡程度

竣工：2019年春（予定）

総投資額：20数億円（予定）

生産品目：葉菜類 日産2.6トン（1株80グラムのリーフレタス換算で32,000株）

■ファームシップ社について

社名：株式会社ファームシップ

代表者：北島 正裕、安田 瑞希

設立：2014年3月10日

資本金：9,050万円（資本準備金含む）

所在地：東京都中央区京橋2-2-1京橋エドグランサウス4階SENQ京橋RoomF

WEB：<http://farmship.co.jp>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

広報IR部 TEL：03-3283-5041